



群馬銀行レポート 2019

GUNMA BANK REPORT

統合報告書

ディスクロージャー誌〔本編〕

目次

群馬銀行の沿革……………4

特集 SDGs 宣言と重点課題 ……6

財務情報ハイライト ……8

非財務情報（ESG/SDGs）ハイライト ……10

群馬銀行の価値創造プロセス ……12

頭取メッセージ ……14

新中期経営計画について

経営プラットフォームの転換 ……18

ビジネスモデルの進化 ……20

営業戦略の展開状況

地域経済活性化に向けた取組み ……22

コンサルティング営業の取組み

法人のお客さま向けの取組み ……26

個人のお客さま向けの取組み ……28

お客さま本位 ……31

特殊詐欺対策への取組み ……33

デジタルバンキングへの取組み ……34

働き方改革への取組み ……36

環境・社会貢献等への取組み ……38

バリアフリーへの取組み ……41

ビジネスモデルを支える経営基盤

コーポレート・ガバナンス ……42

社外取締役役インタビュー ……48

役員一覧……………50

組織図……………53

コンプライアンス態勢 ……54

リスク管理 ……56

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション…60

コーポレートデータ

業績と財務状況……………62

会社概要……………64

当行グループの概要 ……64

大株主の状況……………65

主要な業務の内容……………65

店舗の概要……………66

編集方針

群馬銀行では、当行グループの概要、営業戦略の展開状況および経営基盤などについて、財務情報と非財務情報の両面からステークホルダーの皆さまに簡潔にご説明するため、「群馬銀行レポート2019（統合報告書）」を作成しました。

編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）が2013年12月に発表した「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参照しています。

なお、本統合報告書は、当行の「ディスクロージャーポリシー」に則り、適切に作成・開示されていることを経営陣等が確認しています。

報告対象

期間：2018年度（2018年4月～2019年3月）
2019年4月以降の情報も一部含む。
範囲：株式会社群馬銀行および子会社等（群馬銀行グループ）

発行時期

2019年7月

本報告書は、銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌（業務及び財産の状況に関する説明書類）の本編を兼ねています。ディスクロージャー誌としてご利用の際には、本報告書ならびに「群馬銀行レポート2019（資料編）」をあわせてご参照ください。

また、本報告書には、当行および当行グループの財政状態や経営成績に関して、「将来の業績に関する記述」が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点における入手可能な情報および将来の業績に影響を与える予測や一定の前提（仮定）等を基にしており、さまざまなリスクや不確実性を内包しているため、当行および当行グループの将来の業績を保証するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社群馬銀行
総合企画部広報室

〒371-8611
群馬県前橋市元総社町194
TEL.027-252-1111（代表）